

# 平成29年度の重点事業を県に要望

☎政策財政課政策企画係 ☎⑤6710

7月25日、小山田市長をはじめ関係部長が県庁を訪れ、来年度、市と県、国が連携して取り組むべき重点事業として、新規2件、継続14件、合わせて16件を県に要望しました。説明会では、三村知事のほか県担当者に対して、特に重要性の高い4件について協力を求めました。



知事



十和田市長

## 新規 …新しい事業として要望した事業

### ① 上北地域の特色を生かした移住・定住支援の推進について

**市** 上北地域の地域資源、特色を活用した、より効果的な移住・定住支援施策が実施できるよう、県と管内市町村が連携して取り組む施策の充実を図っていただきたい。

**県** 広域的な生活圏内で連携し、移住・定住の受け入れ態勢を整備することは重要であると考えており、広域的な取り組みについては、これまで以上に積極的な支援をしていきたい。

### ② 十和田湖における水上バイクの利用適正化に向けた取組について

**市** 水上バイクの利用実態の調査および利用適正化対策について、関係機関が連携した検討を行うために、県の参画と必要に応じた助言をいただきたい。

**県** 環境省と連携して具体的な対策を検討する必要がある。県としても、対策検討の場に参画するとともに、他県の情報を提供するなど必要な助言を行いたい。

## 継続 …昨年度に引き続き要望している事業

### ① 地域高規格道路の整備について

**市** 八戸市から十和田市を經由し、秋田県小坂町までを横断する区間について、地域高規格道路への指定に向け、県の「広域道路整備基本計画」の路線に組み入れていただきたい。

**県** 地域高規格道路への指定には数多くのステップがあり、国の高規格道路ネットワークの整備状況からも、広域道路整備基本計画の変更は現状では難しいものと考えている。

### ② 外国人観光客誘客対策の強化について

**市** 北海道新幹線の開業を契機に、飛行機や新幹線を活用した「青函立体観光」を推進し、外国人観光客のより一層の誘客強化に取り組んでいただきたい。

**県** 道南と青森県との時間距離が短縮され、青函地域を周遊してもらう機会が到来したことから、県としても、立体観光をさらに推進し、外国人観光客の誘客強化に努めたい。

### その他の継続要望事項

3	周産期医療関係医師・麻酔科医の確保について
4	屋内サッカースタジアム（全天候型多目的球技場）の設置について
5	子ども医療費の無償化制度の創設について
6	第3子以降の保育料に係る負担軽減について
7	八甲田登山道の整備について
8	奥入瀬溪流における公衆トイレの整備について
9	主要地方道三沢十和田線の整備について
10	一般国道103号奥入瀬（青樺山）バイパスの整備について
11	一般国道102号バイパスの整備について
12	一般国道45号および一般国道102号の整備について
13	主要地方道十和田三戸線の整備について
14	三沢空港利用促進対策の強化について

## 意見交換（フリートーク）

県の「地域医療構想」において、中央病院が上十三地域の中核病院と位置付けられたことから、この医療構想実現に向けた今後の取り組みなどについて、市長と知事が意見交換を行いました。

**市** 上十三地域の特徴を踏まえた医療提供体制などの将来あるべき方向性について、より高いレベルで協議できる体制を整備していただきたい。

**県** 上十三地域の自治体病院の在り方を総合的に考える必要があるため、県がある程度主導的に案を提示したうえで、十和田市、中央病院と一緒に議論を進めていきたい。

**市** 上十三地域の周産期医療の充実を図るため、医師確保対策についても県の積極的な参画をお願いしたい。

**県** 周産期医師の確保は非常に大きな問題であり、大学などの関係機関に対しても、医師が確保できた場合は中央病院へ配置していただくようお願いしている。